

令和5年度第2回摂津市産業振興アクションプラン懇話会 議事録

日時： 令和6年3月18日（月） 14時00分～15時15分

開催方法： オンライン併用 （実会場）摂津市役所本館2階202会議室

出席者： 委員 岩橋 亮 委員
山田 匡規 委員
谷川 幸広 委員
小川 佳美 委員
小石 英司 委員
島内 嘉紀 委員
橋口 勝利 委員
渡邊 勝彦 委員

事務局 鈴木、山下、上田、緒方（摂津市産業振興課）

配布資料： ①次第
②令和5年度第2回産業振興アクションプラン懇話会
③資料1 令和5年度の取組報告
④資料2 市政モニターアンケート
⑤資料3 令和6年度の懇話会スケジュール
⑥資料4 事業所実態調査での質問項目にかかる前回調査からの修正案
⑦資料5 前回の事業所実態調査票

議題： ①令和5年度の取組について（資料1～2）
②第3期計画に策定について（資料3～5）
③その他

座長

それでは時間となりましたので、令和5年度第2回産業振興アクションプラン懇話会を開催いたします。

はじめに、事務局より本日のタイムテーブル、今回の懇話会の目的等について説明がありますので、よろしくお願いいたします。

事務局

（事務局より、『令和5年度第2回産業振興アクションプラン懇話会』に沿って説明）

座長

次第 1、令和 5 年度の取組について事務局より説明を受けます。

事務局

(事務局より、『資料 1 令和 5 年度の取組報告』、『資料 2 市政モニターアンケート』に沿って説明)

座長

説明が終わりました。

冒頭、摂津市の産業振興のために今後どのような取組が求められるか、あるいは各委員の立場でどのような取組ができるか議論いただきたい。との説明がありましたが、その観点から何かご意見、あるいは質問などはございませんか。

委員

鳥飼なすの話ですが、日本料理店や道の駅に卸しています。また、ナスワングランプリではそのままでは市場に卸せないような、いわゆる B 品を使用し、食品ロスを取組にもなっています。

市内で野菜を作っているところは少ないですが、学校給食で使ってもらえるよう、北大阪 J A が動いていて、地産地消の取組であることに加え、小学校の農業体験をしてもらい、農に対する認知度の向上の取組をしています。また、We 米を摂津市の特産品にしようと動いています。

委員

ナスワングランプリは 7 月中旬から 10 日間程度で実施し、今年度は新たな店舗にも参加してもらい、30 店舗ほどを想定しています。工業系の事業としては、令和 6 年度はオープンファクトリーを実施したいと考えています。キャリア教育に登録していただいている事業者と工業系の事業者で地元の小学生を中心に案内し、市外にも市と協力して発信したい。市内の中小事業者を PR し、ゆくゆくは雇用の促進に寄与したい。メリットとしては、見てもらうことで誇りをもって働くことができるというのが 1 つであり、1 月に開催したビジネスマッチングフェアでは、オープンファクトリーの取組を実践している藤田金属株式会社に来てもらいました。以前は町工場であったが、今は大企業とも連携して取組んでいます。2 階では直販もしており、料理教室などもされている。職人はお客さんから見られいるという意識で働かれているようです。

委員

前に八尾市の事業所に行きました。2 階から見ることができ、カメラもあり、モニターを通しても見られる。それだけでは勿体ないということで直販もしていた。農業ももっと見てもらえるのではないのでしょうか。

委員

おはよう朝日では 1 年間取り上げてもらっていました。

委員

市でもPRしてもらいたい。工業の仕事は地味な仕事であり、人に見てもらえるのは一つまみ。展示会にも力を入れてほしい。自社製品を作っている事業者も一つまみ。どうしていいかわからない事業所も多いと思います。

委員

他の委員の事業所が何をされているかも分からない。そこを知らしめることが必要。

委員

マッチングフェアもありますが、より安さを探している事業者も多いから、メリットだけではない。展示会の共同出展も一つだと思う。規模の大きな展示会に行けば〇〇市、〇〇県で展示しているところもあります。

委員

どんな展示会ですか。

委員

モノづくり系のものです。銀行系であれば、工も農も食も同時に展示しているものもあります。

委員

大阪勧業展で摂津市の括りを出してもらったりはしている。

委員

より大きい展示会に出展するのも一つですね。

委員

展示会では、異業種の方が見たら、また違った見方をされるかもしれない。また、「みせるばやお」では、イベントと催事を兼ねてやっています。

例としては子供向けのキッチンスタジオなども一つ。食、食器、農も絡めて子供向け料理教室をし、自身の事業所でいうと石けんを提供など。そういった取組を通じて、色々な事業者を知ってもらう取組。

委員

質問があります。資料1の割引券事業の換金状況で、業種別に示されているが、サービス業、飲食業の割合が低い。こういった業種への物価高による支援はどう捉えていますか。

事務局

飲食店への支援については、令和4年度にグルメクーポン、また商品券事業も実施し、一定支援をしてきたと捉えています。割引券事業でも、利用しやすいのが共通券であり、

小規模店限定券が手元に残ると考えられ、利用先の中心は飲食店や小規模のサービス業であると思われるため、今後はもう少し伸びると考えています。

座長

それでは、次第２ 第３期計画の策定 ということで、事務局より説明を受けます。

事務局

（事務局より、『資料３ 令和６年度の懇話会スケジュール』、『資料４ 事業所実態調査での質問項目にかかる前回調査からの修正案』、『資料５ 前回の事業所実態調査票』に沿って説明）

座長

説明が終わりました。

ただいまの説明も踏まえ、意見等はございませんか。

委員

資料４にあるように、問３から問７はカットしてよいと考えます。問８から問１１については、事業者がどんな強みがあり、それを活かしてどう展開しているかを質問してはどうでしょうか。問１２については、「対応策が必要だとお考えですか」の部分で、「課題をお持ちだと考えますか」としてはどうでしょうか。その次に問１３として、課題の対応策としてどう取り組んでいるか、あるいは取組めていないかを自由に記述してもらってはどうか。それらの情報を取り込んだ上で、支援機関がどうしていけばよいか、支援の方向を議論していけばよいと考えます。

委員

前回の回収率はどれくらいでしたか。

事務局

前回は４０％もないくらいでした。

委員

回収率も大事ではあるが、多少自由記述が増えても質問の中身を充実させていくことが大事だと考えます。また、WEBでの回答の方法もあると思いますが。

事務局

最近のトレンドとしてWEBもあると考えましたが、一番回収率が上がるのは、郵送した上で紙の調査票にて回答してもらい、回答がない場合は、電話をして回答を促すことが、一番回収率が上がるとコンサル会社からは聞いています。

委員

アンケートに回答することによる何かインセンティブがあればいいと思います。

事務局

せっかくアンケートを送付するのであれば、支援施策などお知らせしたい情報を同封することも一つだと考えています。

座長

問1で施策を並べているので、知ってもらう機会にもなると思います。

委員

令和5年度に実施したオンライン催事や事業所PRのページなども入れて、知ってもらう機会にしたらと考えます。

委員

外国人を採用することの課題、例えば言語や生活、他の従業員とのコミュニケーション等、そういったことを質問してもよいかと思います。また、採用活動に要した費用がどれくらいかなども質問しても良いと考えます。

問1ではおしごとフェアなどの就労の施策も記載したら良いと考えます。

委員

アンケート結果はどのように公開しますか。

事務局

アンケート結果報告書を作成し、懇話会内で共有するほか、HPでも公開していきます。

座長

商業の観点ではどうですか。議題1の内容も含めて。

委員

割引チケットは、商品券ではないため、当初は使い方に店側も客側も戸惑っている部分はあったかと思います。

委員

最初はお釣りの出し方でわかりにくかった部分がありました。時間が経つにつれ、慣れてきてそういった部分は解消されてきたかと思います。

座長

一定議論が出尽くしたかと思われませんが、ほかには何かございませんでしょうか。無いようですので、次第2についてはここまでといたします。

本日出た意見を踏まえて事務局にはアンケート調査項目を作成していただくことになり
ますが、最終的な内容は事務局に一任ということでよろしいでしょうか。

では、そのようにするとしまして、これで本日の議題は全て終了しました。

次回の懇話会ですが、事務局から説明のあった通り、9月頃を予定しております。少し
先にはなりますが、事務局より調整し、追って開催通知をお送りいたします。

これをもって、本日の『摂津市産業振興アクションプラン懇話会』を終了いたします。